開催日
令和7年5月3日(土・祝)
14時開演(13時15分開場)

会場
川崎市麻生市民館大ホール
(小田急線新百合ヶ丘駅 北口徒歩3分)

人間国宝の競演

友枝昭世と山本東次郎の至芸

解説 馬場あき子

狂言 二人袴(ふたりばかま) 山本東次郎

能 半蔀(はしとみ) 友枝昭世

アフタートーク 馬場あき子、山本東次郎、友枝昭世

能「半蔀」友枝昭世
(撮影:石田裕)

狂言「二人袴」山本東次郎
(撮影:神田佳明)

チケットご購入のご案内

■チケット発売 ①先行発売(インターネットのみ) 1月17日(金)10:00~1月24日(金)23:59
※会員登録(無料)が必要です
②一般発売 1月31日(金)9:00より一斉発売

■料金【全席指定】 SS席 6,000円 S席 5,000円 A席 4,000円
U25割(S席) 2,500円 U25割(A席) 2,000円
※U25割:未就学児を除く25歳以下の方。S席・A席エリアのみ選択可。来場時に生年月日のわかる身分証明書提示。

■販売方法

アルテリッカは、ジャンルを超えた芸術の祭典!

インターネット

アルテリッカ 検索

アルテリッカしんゆり公式ホームページ(24時間対応)
https://www.artericca-shinyuri.com/

電話予約

しんゆりチケットセンター
TEL. 044-959-2255
(9:00~19:30)
※毎月の施設点検日を除く

窓口販売 (A、B、C、D/地図参照)

A しんゆりチケットセンター(川崎市アートセンター内)
(9:00~19:30)※毎月の施設点検日を除く

B 新百合トウェンティワンホール(10:00~17:00)

C 昭和音楽大学チケットセンター(昭和音楽大学南校舎内)
(10:00~12:00/13:00~18:00)※土・日・祝を除く

D マイタウンチケットセンター マプレ専門店街「写真工房 彩」内
(平日9:00~19:00/土・日・祝10:00~19:00)※座席選択不可

主催:公益財団法人川崎市文化財団 共催:川崎・しんゆり芸術祭実行委員会 川崎市 川崎市教育委員会
後援:「音楽のまち・かわさき」推進協議会 NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり 「映像のまち・かわさき」推進フォーラム

お問合せ先:川崎・しんゆり芸術祭実行委員会事務局
TEL.044-952-5024 FAX.044-955-0431
www.facebook.com/artericca @artericca1

人間国宝の競演 ―友枝昭世と山本東次郎の至芸― 14時 開演

解説　馬場あき子

狂言　**二人袴**

シテ 親　山本東次郎

アド 男　山本　則孝
アド 太郎冠者　山本　則秀
アド 聟　山本凛太郎

―― 休憩（20分） ――

能　**半蔀**

後シテ 夕顔の上の霊
前シテ 里女　友枝　昭世

ワキ 雲林院の僧　宝生　欣哉

アイ 所の者　山本　則秀

後見　中村　邦生
友枝　雄人

大鼓　大倉慶乃助
小鼓　森澤　勇司

地謡　谷　友矩
友枝　真也
内田　成信
佐藤　寛泰

笛　藤田　貴寛

金子敬一郎
長島　茂
香川　靖嗣
狩野　了一

アフタートーク　馬場あき子、山本東次郎、友枝昭世

（17時25分頃 終演）

詳細ページ

狂言　二人袴【ふたりばかま】

聟入とは「足入れ婚」の名残で、夫婦が先に同居生活を始め、正式に夫婦になったことを妻の父親（舅）の家へ改めて挨拶に行く儀式のこと。大人になりきれず、大事な儀式を引き伸ばしている息子をなだめて、舅の家まで付き添って出掛ける父親。ところが、儀式の場に出るとは思わなかった父親は礼服である袴を一人分しか用意していなかったため、困った事態になります。恥にはなりますが、それをとがめ立てせず、許し合うのも狂言の見識です。

能　半蔀【はしとみ】

京都、北山の雲林院に住む僧（ワキ）が、ひと夏の修行を終えたので、その期間に毎日仏に供えた花々のために供養を行っていました。すると夕暮れ時に一人の里女（前シテ）がひとり現れ、一本の白い花を供えました。僧が、ひときわ美しく咲いているその花の名は何か、と尋ねると、女は夕顔の花だと答えます。僧が女の名を尋ねると、その女は、名乗らなくともそのうちにわかるだろう、私はこの花の陰からきた者であり、五条あたりに住んでいる、と言い残して、花の陰に消えていきます。〈中入〉

所の者（アイ）がやってきて、光源氏と夕顔の物語を話して聞かせ、その女は夕顔の亡霊であろうと述べ、五条あたりへ弔いに行くことを勧めます。僧が五条あたりを訪ねると、昔のままの佇まいで半蔀に夕顔が咲く家があります。僧が菩提（ぼだい）を弔おうとすると、半蔀を上げて夕顔の霊（後シテ）が現れ、光源氏との思い出を語り、舞を舞い、夜が明けないうちにと半蔀の中へ戻っていきます。そのすべては、僧の夢の中の出来事でした。

プロフィール

友枝 昭世（ともえだ あきよ）◉能楽師 喜多流 シテ方

◉1940年3月24日生まれ。肥後熊本、加藤家・細川家のお抱え能役者の本座・友枝家に友枝喜久夫の長男として、東京に生まれる
◉1946年／能楽シテ方喜多流十五世宗家喜多実氏に師事
◉1978年／第28回芸術選奨文部大臣新人賞受賞
◉1994年／第16回観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞
◉1995年／第45回芸術選奨文部大臣賞受賞
◉1996年／「友枝会」（江戸幕府崩壊後、曾祖父友枝三郎のもと熊本にて発足）を父喜久夫没後継承
◉2000年／春の紫綬褒章受章
◉2003年／日本芸術院賞受賞
◉2004年／伝統文化ポーラ賞大賞受賞
◉2008年／重要無形文化財各個指定（人間国宝）認定
◉2011年／日本芸術院会員に就任
◉2020年／旭日中綬章受章
◉喜多流宗家預り

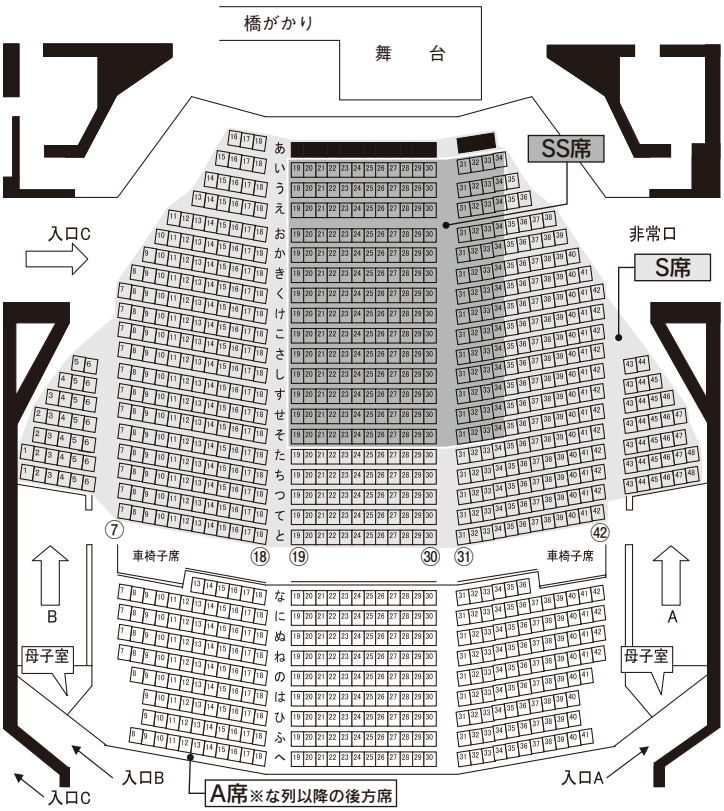
山本東次郎（やまもと とうじろう）◉能楽師 大蔵流 狂言方

◉1937年5月5日生まれ。山本東次郎家四世。三世東次郎の長男。山本会を主宰。
◉1964年／芸術祭奨励賞受賞
◉1992年／芸術選奨文部大臣賞受賞
◉1994年／第16回観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞
◉1998年／紫綬褒章受章
◉2001年／エクソンモービル音楽賞（邦楽部門）受賞
◉2007年／日本芸術院賞受賞
◉2012年／重要無形文化財各個指定（人間国宝）認定
◉2017年／日本芸術院会員に就任
◉2022年／旭日中綬章受章。文化功労者顕彰。
◉一般財団法人杉並能楽堂理事長
◉著書　「狂言のすすめ」、「狂言のことだま」、「山本東次郎家 狂言の面」（玉川大学出版部）、「狂言 山本東次郎」（共著）（新人物往来社）、「中高生のための狂言入門」（共著）（平凡社）

馬場 あき子（ばば あきこ）◉歌人

日本を代表する歌人、文芸評論家。短歌結社「かりん」主宰。古典や能に対する造詣も深く、喜多実に入門。新作能の制作も行い、「影媛」（国立能楽堂委嘱）は大好評を博した。文化功労者、日本芸術院会員、朝日歌壇選者ほか。「馬場あき子全集」全13巻ほか歌集や著書多数。川崎市在住。

川崎市麻生市民館 ホール座席表



詳しくは　川崎市麻生市民館座席表　検索